

赤坂地区総合支所からのお知らせ

ゆるキャラ@グランプリ 2016 に出場中の
赤坂親善大使を
みんなで応援しよう!

赤坂の魅力を発信する、マスコットキャラクター「赤坂親善大使」がゆるキャラ@グランプリ 2016 にエントリーしました!

アカイクン アユミン アカサカメン

今年ゆるキャラグランプリに
エントリーしました!
一日一回投票をお願いします!

投票開始: 2016年7月22日 投票終了: 2016年10月24日

Step 1 まずは公式サイトへ!

①ゆるキャラ@グランプリ2016の公式サイトにアクセス!

ゆるキャラグランプリ 検索

②トップページ左側の「投票はこちら」をクリック!

ID登録をする(初回のみ) Step 2へ
ID登録済みの方 Step 3へ

Step 2 はじめて投票する方はID登録をします

①ID登録ページに移動します

投票方法はこちらをご覧ください。
PC・タブレット・スマートフォンからの投票にはID登録が必要となります。
2016年以前に登録された投票IDは使用できませんので、再度ご登録をお願いします。

ID登録ページへ

②空メールの送信

「entry@vote.yurug.jp」へ空メールを送る!

をクリックしてメールを送信する

③「ゆるキャラグランプリID登録」という件名のメールが届きます

④届いたメールに書かれたURLにアクセスする

⑤パスワードを設定して登録完了

Step 3 赤坂親善大使に投票してください!

①「赤坂親善大使」を探す

※ゆるキャラ名を指定

赤坂親善大使

「エントリーNo.997」赤坂親善大使「アカサカメン」アユミン「アカイクン」

②Step2で登録したメールアドレスとパスワードを入力して投票する

IDメールアドレスで投票する

投票ありがとうございます!
1日1回投票できます。
明日も投票をお願いします!

●問合せ/協働推進課 地区政策担当

電話: 03-5413-7013

https://www.facebook.com/akaskashinzentaishi/

「世界キャラクターさみことin羽生」
11月19、20日に埼玉県羽生市で開催される「世界キャラクターさみことin羽生」に赤坂親善大使が参加することになったのよみんな応援しようね!

赤坂青山地域情報誌 第37号
平成28年(2016)9月発行
編集: 港区赤坂・青山地区タウンミーティング
地域情報の発信・交流分科会
発行: 港区赤坂地区総合支所協働推進課
〒107-8516 港区赤坂4-18-13
電話: 03-5413-7013
FAX: 03-5413-2019 (発行部数 24,500部)

赤坂親善大使
アユミン

200
再生産を認めています

赤坂地区総合支所からのお知らせ

徳川吉宗公300周年事業
～赤坂氷川山車の展示と附け祭り～

徳川吉宗公將軍就任300周年記念事業として、「赤坂氷川祭」の山車巡行に附け祭りとしてお囃子、木遣、手古舞などを加えて巡行を華やかにします。
また、江戸時代から奇跡的に残り全国的にも貴重な「赤坂氷川山車」を展示します。

●対象者: どなたでも
●日 時: 9月17日(土)1300～1800 9月18日(日) 900～1730
●場 所: 氷川神社及び赤坂一帯
●申込み: 当日直接会場へ
●問合せ/ 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係
電話: 03-5413-7272
徳川吉宗公300周年事業実行委員会(氷川神社内)
電話: 03-3583-1935

※一般財団法人 自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な取組み等に対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図っています。徳川吉宗公 300 周年事業は、宝くじの助成金で実施します。

詳しくは、
赤坂氷川祭
ホームページへ

港区政70周年記念助成対象事業
赤坂 街ぐるみ親子コスチューム・コンテスト

親子や友人同士、思い思いのコスプレを披露しながら赤坂の商店街でスタンプラリーを楽しめます。赤坂の街を巡るスタンプラリーでは、地域住民との親睦や赤坂の歴史文化に触れる機会もあります。ゴールの赤坂区民センターでは、なりきりコスチュームコンテストを行います。

●日 時: 10月27日(木)スタンプラリー 16:00～16:45(予定)
※区民ホールにて実施
プレイイベント 17:30～(予定) コンテスト 18:00～(予定)
●場 所: 赤坂エリア 集合:浄土寺 解散:赤坂区民センター
●申込み: スタンプラリー及びコンテストについては
参加申込み制(区民以外も可)
●問合せ/赤坂区民センター 電話: 03-5413-2711

港区政70周年記念助成対象事業
赤坂歴史探訪

赤坂が歴史のある街、魅力のある街であることをご紹介いたします。

第一弾 勝海舟と坂本龍馬師弟像 除幕式

●対象者: どなたでも(定員:150名)
●日 時: 9月10日(土)1000～1040 ●場 所: サン・サン赤坂
第二弾 江戸の祭りと社宝展

●対象者: お電話での申込み者のみ(定員各回50名)
●日 時: 9月10日(土)1400～1530
9月11日(日)1000～1130、1230～1400、1400～1530
●内 容: 江戸型山車人形9体の展示、徳川家の朱印状や海舟の掛け軸などの展示、江戸の祭礼についての講演
●場 所: 赤坂氷川神社 ●費 用: 参加費500円
第三弾 徳川吉宗と赤坂

●対象者: お電話での申込者のみ(定員400名)
●日 時: 9月17日(土)1000～1130
●内 容: 和歌山市長と松平健氏との対談
講演「徳川吉宗公と赤坂の祭り」 滝口 正哉氏
●場 所: 赤坂区民ホール
●問合せ/ NPO法人 赤坂氷川山車保存会(氷川神社内)
電話: 03-3583-1935(受付時間1000～1700)

赤坂地区総合支所からのお知らせ

港区赤坂地区総合支所 地域情報国際化プロジェクト
文化交流お互いの国を理解し、スポーツ交流で
サッカー日本×オーストラリア戦を
一緒に応援しよう!

赤坂地区総合支所管内各学校とオーストラリアは毎年交流を行っており、今年度も管内各学校交流を予定しています。
赤坂地区総合支所は、地域の活動を支援し、地域を盛り上げるため、また、赤坂地区国際交流にさらなる相乗効果(地域情報発信の強化等)をもたらすため、国際交流イベントを実施します。

平成27年度国際交流イベントの様子

第1部【文化交流イベント】
★赤坂中学校・青山中学校発表
地域の中学生によるオーストラリア訪問体験発表を通じ、オーストラリアに対する理解を深めます。
第2部【スポーツ交流イベント】
★サッカー日本×オーストラリア戦パブリックビューイング
両国を一緒に応援し、試合後は健闘を称えあい、国旗と共に記念撮影を行います。

開催概要

●期 間: 2016年10月1日(土)～15日(土)
●会 場: アーク・カラヤン広場、サントリーホール他
●主 催: サントリーホール、森ビル株式会社 ●後援: 港区
●問合せ/ 森ビル株式会社 電話: 03-6406-6663

内容

●日 時: 10月11日(火)
●時 間: 第1部 16:30～17:30(予定)
第2部 18:00～20:00(予定)
●参加者: どなたでも ●参加費: 無料
●場 所: 赤坂区民センターホール 赤坂4-18-13
赤坂コミュニティ館らざ3階
●問合せ/ 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係
電話: 03-5413-7272
※時間・内容は予定です。詳細は決まり次第、区掲示板やHP等でお知らせします。

港区政70周年記念助成対象事業
みんなが街ガイド養成講座受講生募集!!

赤坂に在住、在勤、赤坂ファンみなさん、ごだけ赤坂のことをご存知ですか?
2020年のオリンピックに向けて、多くの観光客や外国人が赤坂を訪れ、宿泊したり、飲食をしたりする機会が増える予想されます。そんな時、お客さんに気軽に街の歴史や観光スポットを説明できたら、何にも変えがたい「おもてなし」になるのではないのでしょうか。街の人、みんなが、赤坂の歴史や観光スポットを紹介出来るように、「みんなが街ガイド」養成講座を開催します。赤坂の街の魅力を再発見するために、是非、ご参加ください。

内 容

出前授業 商店・企業・街のお仲間など5人以上集まれば講師が講義に出向きます。
参加費: 500 円 テキスト: 500 円
固定講座 偶数日の第4木曜日(12月のみ第2木曜日)
屋コース: 14:30～16:00
夜コース: 18:30～20:00
参加費: 500 円 テキスト: 500 円 場所: 氷川神社
街歩き 上記の授業終了者対象。上記授業のスポットを歩きます。
土曜午前中2時間。日時は別途設定。
参加費: 一人 500 円
習熟別クラス すでに上記のクラスを終了した方、ある程度赤坂の歴史やスポットについてご存知の方やもっと赤坂のことを知りたい方を対象に中級コースも設定いたします。
テキスト代: 500 円 (各回講座で使用)

電 話: 03-3403-7439(西) 090-4097-6304(日野)
Eメール: yuji-24@jcom.zaq.ne.jp (西) YQL05371@nifty.com (日野)
代表: 西 勇治 (赤坂青山町会連合会 名誉会長)
107-0052 港区赤坂8-10-30-310 西勇治方

●日時: 平成28年11月6日(日) 9:30～11:30
●場所: 港区立青山中学校
参加者には
防災グッズを
差し上げます

●問合せ/ 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係
電話: 03-5413-7272

「アークヒルズ音楽週間2016」開催!!

2011年、アークヒルズ 25 周年を機にはじまったアークヒルズ音楽週間は、都市文化を楽しむライフスタイルを提案する「アークヒルズ」と、開館以来、世界の音楽芸術に触れる機会を創造している「サントリーホール」が、音楽をより多くの方に身近に楽しんでいただくことを目的にスタートした音楽イベントです。
昨年は、アークヒルズ及び周辺エリアの合計 18 施設で 74 公演展開し、1 万人を超えるお客様にご参加いただきました。
6 回目となる今年はアークヒルズ 30 周年を記念し、期間を1週間拡大して 2 週間に渡り開催します!
メインコンセプトである、“音楽がであろ。音楽にであろ。”が示す通り、開催期間中、街の様々な場所で音楽が奏でられる、そんな 2 週間を創出します。
特別な年である今年は、音楽の都ウィーンを代表するオーケストラ「ウィーン・フィル」のガラ・コンサートを特別にアーク・カラヤン広場でライブ・ビューイングするほか、街を舞台に、音楽を通し年齢や国籍を超えた様々な人々が交流できるプログラムを展開いたします。
みなさま、是非アークヒルズ音楽週間に足をお運びいただき、お楽しみください。

現代の医療を支える大発見

「アドレナリン」という言葉を誰もが耳にしたことがあるのではないのでしょうか。アドレナリンは、昇圧剤や止血剤として、今でも外科手術には欠かせない物質です。1900年の夏、高峰譲吉は世界で初めてアドレナリンの抽出に成功しました。この発見は、世界の医学・薬学界に多大なる貢献を果たしたのです。

幼き頃から勉学に励む

高峰譲吉は、嘉永7年(1854年)に現在の富山県高岡市に生まれ、翌年に移住した石川県金沢市で幼い時期を過ごしました。祖父も父も医者の家系で育ち、両親からは実学的なエリート教育を受け、その才能を幼い頃から開花させていきます。12歳で留学生として選出され長崎で英語を学び、のちに大阪医学校でドイツ人のリッテル博士から化学を学んだことがきっかけで化学への志になりました。熱心に勉学に励み、化学だけでなく、語学にも堪能な努力家な青年だったといえます。その後、工部大学校(現:東京大学工学部)に進学し、応用化学科第一期生の首席として卒業します。

日本を飛び出し新しい視点へ

そして舞台は世界へと移り、3年間のイギリス留学の中で応用化学の勉学にさらに励みます。帰国後は農商務省工務局で勤務し、そこでアメリカで開かれる国際博覧会への長期出張を命じられます。その博覧会で「鱗鉱石」と出会い、人造肥料に着目したことがその後の譲吉の人生の転機となりました。

挫折があったからこそ、成果がある

帰国後、農商務省を退職し東京人造肥料会社を設立、日本の肥料工業の先駆けとなる人造肥料生産に尽力します。その傍ら、日本の麹菌によるアルコール醸造法をウイスキー製造に応用する技術を開発し、多大なる評価を得ます。このことがきっかけでアメリカに招かれましたが、地元業者の妨害に遭い挫折を経験するのです。しかし、この挫折は譲吉に新たな発見をもたらしました。醸造発酵技術の過程で「タカジアスターゼ」という酵素を発見するのです。この酵素は胃腸の調子を整える医薬品として今でも使われています。この発見で足場を築いた譲吉はニューヨークに小さな実験室を作ります。そこで牛の副腎から「アドレナリン」の抽出に成功します。これは世界で初めての偉業でした。この二つの発見によって、譲吉はアメリカで揺るがせない地位を築き、特に醸造発酵技術の発展に貢献したことから「バイオテクノロジーの父」と呼ばれるようになりました。

次へと繋ぐ原動力

その後は自身の発見発明を事業に結び付けていき、実業家・企業家としても活躍していきます。また、様々な功績で得た巨額の富は、日米親善、民間外交に惜しみなく投じたといえます。譲吉の一生は実に探究心に溢れたものでした。自身の発見を次へ次へと活かす姿勢、譲吉を突き動かすその探求心の深さこそ、現在にも名の残るゆえんでしょう。

●日時: 平成28年11月6日(日) 9:30～11:30
●場所: 港区立青山中学校
参加者には
防災グッズを
差し上げます

●問合せ/ 赤坂地区総合支所協働推進課協働推進係
電話: 03-5413-7272

参考文献: 「高峰譲吉の生涯～アドレナリン発見の真実～」著者:飯沼和正・菅野重夫 出版:朝日新聞社
「日本科学の先駆者 高峰譲吉～アドレナリン発見物語～」著者:山崎哲盛 出版:岩波書店

青山霊園眺望
～人と歴史～

第29回
高峰譲吉(1854～1922年)
1種口 第15号3側4番

現代の医療を支える大発見

「アドレナリン」という言葉を誰もが耳にしたことがあるのではないのでしょうか。アドレナリンは、昇圧剤や止血剤として、今でも外科手術には欠かせない物質です。1900年の夏、高峰譲吉は世界で初めてアドレナリンの抽出に成功しました。この発見は、世界の医学・薬学界に多大なる貢献を果たしたのです。

幼き頃から勉学に励む

高峰譲吉は、嘉永7年(1854年)に現在の富山県高岡市に生まれ、翌年に移住した石川県金沢市で幼い時期を過ごしました。祖父も父も医者の家系で育ち、両親からは実学的なエリート教育を受け、その才能を幼い頃から開花させていきます。12歳で留学生として選出され長崎で英語を学び、のちに大阪医学校でドイツ人のリッテル博士から化学を学んだことがきっかけで化学への志になりました。熱心に勉学に励み、化学だけでなく、語学にも堪能な努力家な青年だったといえます。その後、工部大学校(現:東京大学工学部)に進学し、応用化学科第一期生の首席として卒業します。

日本を飛び出し新しい視点へ

そして舞台は世界へと移り、3年間のイギリス留学の中で応用化学の勉学にさらに励みます。帰国後は農商務省工務局で勤務し、そこでアメリカで開かれる国際博覧会への長期出張を命じられます。その博覧会で「鱗鉱石」と出会い、人造肥料に着目したことがその後の譲吉の人生の転機となりました。

挫折があったからこそ、成果がある

帰国後、農商務省を退職し東京人造肥料会社を設立、日本の肥料工業の先駆けとなる人造肥料生産に尽力します。その傍ら、日本の麹菌によるアルコール醸造法をウイスキー製造に応用する技術を開発し、多大なる評価を得ます。このことがきっかけでアメリカに招かれましたが、地元業者の妨害に遭い挫折を経験するのです。しかし、この挫折は譲吉に新たな発見をもたらしました。醸造発酵技術の過程で「タカジアスターゼ」という酵素を発見するのです。この酵素は胃腸の調子を整える医薬品として今でも使われています。この発見で足場を築いた譲吉はニューヨークに小さな実験室を作ります。そこで牛の副腎から「アドレナリン」の抽出に成功します。これは世界で初めての偉業でした。この二つの発見によって、譲吉はアメリカで揺るがせない地位を築き、特に醸造発酵技術の発展に貢献したことから「バイオテクノロジーの父」と呼ばれるようになりました。

次へと繋ぐ原動力

その後は自身の発見発明を事業に結び付けていき、実業家・企業家としても活躍していきます。また、様々な功績で得た巨額の富は、日米親善、民間外交に惜しみなく投じたといえます。譲吉の一生は実に探究心に溢れたものでした。自身の発見を次へ次へと活かす姿勢、譲吉を突き動かすその探求心の深さこそ、現在にも名の残るゆえんでしょう。

赤坂警察署からのお知らせ

平成27年中、都内のオレオレ詐欺等
特殊詐欺の被害約67億円
オレオレ詐欺撃退に――
自動通話録音機
があります

『この電話は振込め詐欺被害防止のため録音されます。』と案内があり、通話が録音されます。

この自動通話録音機の設置をご希望の方は、
赤坂警察署までご連絡ください。

●問合せ/ 警視庁赤坂警察署 生活安全課 防犯係
電話: 03-3475-0110 (内線2162・2612)

赤坂消防署からのお知らせ

赤坂消防署 開署90周年

赤坂消防署は、平成28年7月1日に開署90周年を迎えました。今後も「日本一安全なまち 赤坂・青山」をスローガンに、地域の皆様とともに頑張っていきます。

東京消防庁
救急相談センターのご案内

急な病気やケガで、「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな?」など迷ったことはありませんか?そんな時は「東京消防庁救急相談センター」をご利用ください。医師・看護師等の相談医療チームが、24時間・年中無休で対応します。

病院へ行く?救急車を呼ぶ?急な病気やケガで迷ったら
東京版 救急受診ガイド

病気やケガの緊急度や受診する科目をパソコンや携帯電話などで確認できる
[東京版 救急受診ガイド]のサービスを東京消防庁ホームページで提供中

携帯電話は
こちらから

スマートフォンは
こちらから

※冊子版[東京版救急受診ガイド]でも確認できます。詳しくは最寄りの消防署まで

電話での
ご相談は

東京消防庁
救急相談センター #70119

●問合せ/ 赤坂消防署 電話: 03-3478-0119
http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akasaki

赤坂・青山
地域の活動
vol.11

青外苑前商店街
振興組合副理事長
横田 尚彦 さん

青外苑前商店街振興組合(以下:組合)は、地域の活性化、環境美化活動等に取り組んでいます。平成25年に創立20周年を迎えました。

いつからこの仕事に関わり始めましたか?

約17年前です。

関わったきっかけは何ですか?

組合の役員会に参加したことがきっかけで活動を知り、お手伝いが少しでもできればと思い、活動に関わり始めました。

青外苑前商店街振興組合の主な活動は何ですか?

5月のスポーツまつり、6月の郡上おどりin青山、10月の青山まつりの3つが年間を通じての大きな活動です。
スポーツまつりではスポーツ講師との調整、郡上おどりin青山では櫓(やぐら)や会場設営、青山まつりでは新しい企画の考案と各イベントで活動内容が変わります。
準備は、各イベント実施の5か月前から組合のみんなで手分けをし、協力しながら取り組んでいます。

大変なことは何ですか?

自営業と組合の活動の両立です。外部講師や企業さんと関わりもあるので、日中に組合の打合せが開催される場合もあります。その時は自分の仕事を前後に移動させることで調整し、打合せに参加できるよう時間調整を行っています。時間調整が上手くいかないこともあり、そのやりくりが大変です。

やりがいは何ですか?

自分たちが行ったイベントへ多数の集客があったり、自分たちの行っている事業が街に浸透してきたりするやりがいを感じます。また、イベント実施の際、各商店の来客数が増えるなど、目に見える成果が上がると組合として嬉しく感じます。

これからの目標は何ですか?

これから先は、オリンピック需要に頼らない事業の展開を考えていき、最終的には「スポーツの街・青山」というものが地域に根付いていくといいなと思っています。

何かこのコーナーを読んでいる方々へ、伝えたいメッセージはありますか?

組合では、年間を通じて上記の3つのイベント以外にも様々なイベントを行っています。各イベントは、組合のホームページや掲示板等で周知していますので、ぜひみなさんも参加していただければと思います。また、青外苑前商店街振興組合への加入も随時受付けております。

●問合せ/ 協働推進課 協働推進係 電話 03-5413-7272

第37号
平成28年9月発行

地域の人がつくる
地域情報誌

MYタウン
赤坂青山
AKASAKA AOYAMA

特集
ミュージック
スポット
12

AKASAKA
AOYAMA
MUSIC SPOT
Twelve

MY TOWN AKASAKA AOYAMA

2016
09
No.37

赤坂警察署からのお知らせ

平成27年中、都内のオレオレ詐欺等
特殊詐欺の被害約67億円
オレオレ詐欺撃退に――
自動通話録音機
があります

『この電話は振込め詐欺被害防止のため録音されます。』と案内があり、通話が録音されます。

この自動通話録音機の設置をご希望の方は、
赤坂警察署までご連絡ください。

●問合せ/ 警視庁赤坂警察署 生活安全課 防犯係
電話: 03-3475-0110 (内線2162・2612)

赤坂消防署からのお知らせ

赤坂消防署 開署90周年

赤坂消防署は、平成28年7月1日に開署90周年を迎えました。今後も「日本一安全なまち 赤坂・青山」をスローガンに、地域の皆様とともに頑張っていきます。

東京消防庁
救急相談センターのご案内

急な病気やケガで、「今すぐ病院に行ったほうがいいのかな?」など迷ったことはありませんか?そんな時は「東京消防庁救急相談センター」をご利用ください。医師・看護師等の相談医療チームが、24時間・年中無休で対応します。

病院へ行く?救急車を呼ぶ?急な病気やケガで迷ったら
東京版 救急受診ガイド

病気やケガの緊急度や受診する科目をパソコンや携帯電話などで確認できる
[東京版 救急受診ガイド]のサービスを東京消防庁ホームページで提供中

携帯電話は
こちらから

スマートフォンは
こちらから

※冊子版[東京版救急受診ガイド]でも確認できます。詳しくは最寄りの消防署まで

電話での
ご相談は

東京消防庁
救急相談センター #70119

●問合せ/ 赤坂消防署 電話: 03-3478-0119
http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-akasaki

MUSIC SPOT 12

芸術の秋。赤坂青山には音楽を楽しむことができるたくさんの企画があります。今号では「気軽に楽しめる」「本格的に楽しめる」「自分で演奏してみたい」「音楽にまつわるイベント」というテーマで取材しました。

サントリーホール オルガン プロムナードコンサート

あのサントリーホールで、楽器の王様パイプオルガン(以下オルガン)の演奏がたっぷり30分聴けて、しかも無料!コンサート当日、ホール前のカラヤン広場に長蛇の列ができるのも領けます。25年前、サントリーホール開館5周年の時にオルガンプロムナードコンサートはスタートしました。オルガンをもつホールがまだ少ない中、「世界最大級の壮麗な響きを広く皆様に楽しんでいただきたい」との思いから実現しました。

月に一度のコンサート、体験してみました。大ホール前面いっぱいにも重厚な趣でたたずむパイプオルガンを演奏するのは女性オルガニスト。力強い旋律に、一瞬で外の喧騒を忘れます。5898本ものパイプから響きわたるサントリーホール独特の美しい音のシャワーを身体いっぱい浴びた気分になりました。このオルガンコンサートを企画運営する安孫子さんにおすめの席を何うと「どの席でも響きは均一に良く設計されています。オルガンの真正面の2階席が最も迫力があるか」と思います。コンサートチケットを買うときの参考に、月ごとに毎回違う席で聴き比べをする方もい

らっしゃいます」。

また、オルガンを直近に見ながら説明を聞いたり、楽屋などを巡るバックステージツアー(事前申込み・抽選制)がコンサート当日の演奏前にあるので、オルガンの知識を深めてから聴きたい方や、演奏を聴いて興味をもった方に是非おすめします。

住所 赤坂1-13-1 サントリーホール大ホール
時間 12:15~12:45(12:00開場)
●入場無料●予約不要●大ホール内の昼食不可●就学前のお子様連れの方は小ホール大型スクリーンで鑑賞●バックステージツアーの詳細はWebで
電話 サントリーホールチケットセンター ☎ 0570-55-0017
次回コンサートのお知らせ
9月15日(木) / 10月27日(木) / 11月24日(木) / 12月15日(木)

日本財団 ランチタイムコンサート

2001年から開催されているこのランチコンサート。公募により採用された音大生等の若手音楽家が、毎回多数の聴衆(リピーターも多いとのこと)を前に、瑞々しい音楽を披露しています。「若手演奏家への発表機会に加え、地域の方への音楽鑑賞機会の提供」という趣旨で開催しています。日本財団ご担当の神谷さん。内容はクラシックが多めですが、これから新機軸も考えていきたいとのことでした。

近隣にお勤めの方はもちろん、地域住民の方、子ども連れの方も大歓迎だそうです。身近な場所で気軽に音楽鑑賞を楽しめる贅沢、ぜひ味わってみませんか?

住所 赤坂1-2-2 日本財団ビル 1Fロビー **時間** 12:10~12:50
●入場無料●予約不要●昼食持ち込み可●子ども連れでのご来場歓迎
電話 日本財団ランチタイムコンサート係 ☎ 03-6229-5111(代表)
次回コンサートのお知らせ
9月14日(水) / 10月4日(火)・5日(水)

国際新赤坂ビル 水曜コンサート

1980年代から続く国際新赤坂ビルの水曜コンサート。地元の方、近隣オフィスの方、はたまた演奏の音につられてふらっと立ち寄った方など、多くの方に愛されるコンサートです。吹き抜けになった外の広場で奏でられる管楽器の音色は、お昼の赤坂の街を活気づけてくれます。クラシック、ポップス、流行の曲など、老若男女楽しめる曲目になっています。

ぜひお気軽に立ち寄ってみてくださいね。

住所 赤坂6-1-20 国際新赤坂ビル 西館地下1階サンクンガーデン
時間 12:10~12:50 ※雨天中止
電話 国際新赤坂ビル管理事務所 ☎ 03-3589-3160
次回コンサートのお知らせ
9月28日(水) / 10月5日(水)、10月12日(水)

霊南坂教会 水曜チャペルコンサート

緑に囲まれた静かな曲がり角を抜けると、そこに霊南坂教会はあります。「教会で行うコンサートならではの癒し、励ましの想いを届けた」という気持ちで行っています。」と牧師の井上創さんはお話してくださいました。気軽に足を運んでいただけるようにと、お祈りや聖書の朗読などはあえて行わないのだそうです。コンサートはパイプオルガンを基本として、日によってオーボエや声楽などと組み合わせて演奏されます。一階席はすぐ手の届くような近さにパイプが並びます。またオルガニストの指使いを間近に見ることが出来、両手両足の全てを使って無数の鍵盤が叩かれると、瞬時にパイプが呼応し音が鳴ります。まるで何人もの演奏家がそこに居て、様々な楽器を使い分けながら音を奏でているように、曲ごとに音色や強弱が変わります。しかし微かにパイプがペコッ、ポコッと音を立てるのが聞こえると、本当に鍵盤の一つひとつから繰り出されている音なのだということがよく分かります。この近さならではの発見です。二階席もあり、そこには以前に使用されていたアンティークのパイプオルガンを腰を下ろし、現役のパイプオルガン师に向かい合っています。高い天井、ゆったりとひとときを過ごし、ホールの外に出ると、ステンドグラスの窓から柔らかな光が差し込んで、自然と穏やかな気持ちに。専属のオルガニストは4人ともこの教会の教会員で、歴代のオルガニストたちと一緒に礼拝の演奏を担当してこれました。音と想いが受け継がれていることも、「癒しと励まし」を感じられる理由なのかもしれません。

住所 赤坂1-14-3 **時間** 12:30~12:55
●入場無料●予約不要●礼拝堂内での昼食不可●子ども連れでの来場歓迎
電話 ☎ 03-3583-0403
次回コンサートのお知らせ
9月28日(水) / 10月5日(水)、10月12日(水)、10月19日(水)、10月26日(水)

ブルーノート東京

表参道駅から徒歩10分、ブランドショップが並ぶ街の一角に、ジャズクラブ「ブルーノート東京」はあります。重厚なドアを開いて一歩入ると、そこは都会の真ん中である事を忘れるような異空間でした。1988年の開店から、一度の移転を経て、現在まで、青山でジャズの聖地として愛されるブルーノート東京とは、どんな所なのでしょう。勤続13年のスタッフ、原澤さんにお話を伺いました。

「まず、ニューヨークにある本店との違いは、広さが倍以上あることです。キャパが大きいので、ジャズだけでなくポップスやロック、それにアフリカや南米、アジアなど、世界各国の代表的なアーティストを招く事が出来るそうです。

同じように音楽が聴けるコンサートやライブハウスとの一番の違いは、「ブルーノートがライブレストランだということ」。飲食店の顔も持っている為、音楽ファンのみならず、記念日や誕生日、さらにはたまたま立ち寄ったという人まで、良い意味でハードル低く利用できるのだそうです。最近では、一人で楽しみに来る方も多いのだとか。加えて、「お客様とステージの距離が近いので、一体感が味わえます」。来場者が音楽空間の一部になれる事も、ライブレストランならではの魅力のようです。

レストランメニューは「公演毎に、アーティストをイメージしたオリジナルカクテルを作ります。アーティストとコラボしたお料理を提供することもありますよ」。アルコールだけでなく、チケットを持っていない人でも入れるパードで楽しむ事ができます。

また、普段は入れない18歳未満の子どもや、気軽に来店できない学生の為に、子ども向けイベントや学割サービスもあるそうです。

最後に地域の方へ、こんなメッセージをいただきました。

「青山に店を構えたのは、この地に根付いた文化的ベースに魅力を感じたから。約30年前にこの地を選んだ事は、我々にとって正しい選択でした。そしてこれから先も、この地にブルーノート東京があってよかったと、地域の方が思って下さるようなお店を目指してまいります」。

住所 南青山6-3-16 ライカビル
電話 ☎ 03-5485-0088
時間 月曜日~金曜日 17:00~24:00
土・日・祝日 15:30~23:00

サントリーホール

この秋、赤坂の地で30年の節目を迎えるサントリーホール。世界に誇る最高品質のコンサートホールを身近に感じたく、広報の竹本さんを訪ねました。

サントリーホールの魅力って何ですか?

「世界一美しい響き」を目指したい! 大のクラシック音楽ファンの初代館長佐治三氏の熱い想いを受けて建設されたサントリーホールは、設計に際し深く関わった世界的指揮者、故カラヤン氏も感動して「まるで音の宝宝箱のようだ」と感想を述べたといひます。その秘密はヴァンヤード(ぶどう畑)形式というホールの形状。ステージを太陽に見立て、全2006席がぶどうの段々畑のように太陽に向くように設置されているため、ステージから発する音の響きはどの席にも降り注ぐようになっているのです。この形状は演奏者と聴衆が近く感じられ、一体となって素晴らしい音楽体験を共有できるのです。

大ホールの中のこだわりは?

木のぬくもりです。木をふんだんに使うことによって、視覚的にも音響的にも温かさを感じていただけます。母体がお酒の会社ですから、壁面にはウイスキーの貯蔵に使われるホワイトオーク材を使っているんですよ。客席の座面はワインレッドのぶどう柄生地を張り、ゆったりと座って演奏を楽しめるスペースを確保しています。ほら、パイプオルガン上部のデザインは麦の穂、シャンデリアはシャンパングラスに立ち上る泡に見えるでしょう? サントリーならではの意匠にこだわっています。

ホールでのおすめの過ごし方は?

レセプションист、つまりご案内係がお客様の対応をするのも、ドリンクコーナーにお酒を置いたのも、サントリーホールが初めてなんですよ。エントランスからロビー(ロビー)に一歩入ると、そこには別の時間と空気が流れます。ワインレッドの絨毯の上を優雅に歩き、クロークに荷物を預け、開演前の高揚感をお酒片手に愉しむ。そんな大人の社交場でありたいと思っています。

来年のリニューアル(2017年2月6日~8月末)で何が変わるの? ——

サントリーホールは10年の節目ごとに大規模なリニューアルを行います。今回は経年劣化によるメンテナンスとパイプオルガンのオーバーホールをします。パイプ5898本すべてを1本1本お掃除して調律するんですよ! 今回はソーシャルニースを踏まえ、ユニバーサルデザインも見直す予定です。長いお休みをいただきますが、来年秋のリニューアルオープンを楽しみにしてください。

住所 赤坂1-13-1 **電話** ☎ 03-3505-1001

氷川神社雅楽サークル

雅楽という言葉聞いたことはあるけれど、その実体を正確に理解している人は少ないでしょう。正月に宮内庁で行う特別な催し物、つまり別世界の事である、といったイメージを持っているかもしれません。はるか昔、6世紀、大陸から様々な文化とともに日本にやってきた音楽は日本古来の歌や舞と融合し、独自の雅楽となりました。風凰が羽を休めている姿に似ていることから鳳皇とも呼ばれている楽器、笙、旋律を担うたて笛、箏、空間を舞う龍の鳴き声を表す龍笛といった吹物をメインに琵琶、琴、太鼓などで構成される雅楽は世界最古のオーケストラと言われ、宮中や武将の間で愛されてきました。あまり馴染みの薄いこの伝統文化をもっと気軽に楽しもうと10年前初心者が集まり、雅楽サークルは始まりました。年齢も職業もバラバラな会員の中にはある程度音楽の知識のある人もいたのですが、雅楽の楽器に触るのは初めてと言うのがほとんどだったそうです。現在、氷川神社のお祭りのほか、神社の神前結婚式などで演奏しており、今年氷川祭では9月11日(日)、17時30分から特設ステージを設け、赤坂氷川混声合唱団と出演する予定です。その際は雅楽の正装、直垂を着用し、かがり火を焚いて幻想的な空間を演出していきます。

現在、後述の茜囃子会と同様、一緒に演奏してくださる仲間を募集しています。悠久なる天平の音色をご自分で奏でてはみませんか。興味のある方は赤坂氷川神社のサイトを是非ご覧ください。

住所 赤坂6-10-12 赤坂氷川神社社務所 **電話** ☎ 03-3583-1935
詳しくは、ホームページをご覧ください。[氷川雅楽サークル] [後新]

赤坂茜囃子会

名前の由来は、今は無き茜湯という銭湯の脱衣所でお囃子の練習をしていたからだそうです。昭和24年なよし会として発足、後に茜囃子会と改名、現在まで赤坂中ノ町・新四町会で63年の歴史を刻んで来ました。仲の良い友達同士、あるいはお兄さん、お姉さんが入っていたから参加した小学生から高校生までの15人程で構成され、和太鼓や笛を中心に演奏しています。太鼓を担当する中には専で人気のある某ゲームで、難しいランクでもフルコンボ出せるよ、と言う子や、休むとブランクが出てリズム感が無くなるから毎日練習している、と嬉しそうに話してくれる子もいました。毎年、氷川神社のお祭りの際、奏者が氷川山車や町会山車に乗り、自慢の腕前を披露しています。

今年は9月15日(木)、16日(金)、国際新赤坂ビル東館に氷川山車を展示し、17日(土)、18日(日)には赤坂の街中をその山車と祭りの参加者が練り歩きます。いずれの日も山車の上に揃いの祭りははびを着た太鼓の奏者が乗り、お囃子を演奏し続けます。日頃、静かなオフィス街である赤坂がお祭りの歓喜に染まる季節がやってきます。そのモダンでお洒落な風景の中、伝統的な和の音が流れる、斬新さを味わってみましょう。

住所 赤坂6-10-12 赤坂氷川神社社務所 **電話** ☎ 03-3583-1935
詳しくは、ホームページをご覧ください。[赤坂氷川混声合唱団] [後新]

月並ライブ

赤坂の意外な場所でお箏の生演奏が聴ける場所があります。ミカワヤビルの2階、貸会議室の空間を利用して、毎月第三木曜日お箏の演奏会を開催しているという高市雅風先生。「お箏の最大の魅力は音色。生の音を気軽に聴いていただきたいんです」と優しい笑顔で語ってくれた先生。敷居が高いように思われがちなお箏だが、「入口は難しくない楽器なんですよ。もしご興味のある方はお箏の演奏を聴くところから一歩踏み出してみてくださいね」とのこと。月並ライブ以外にも様々な活動をしてお箏の魅力を伝えている先生。まずは月に一度、お箏の美しい音色に癒されてみてはいかがでしょう。

住所 赤坂2-10-14 ミカワヤビル2階 **FAX** ☎ 03-6426-5995
今後のイベント 9月15日(木) 12:20~12:45

ASHIMIZU 風鈴彩祭

※本イベントは、8月28日で終了しています。

季節ごとに様々なイベントを開催している東京ミッドタウン。今回は夏に開催されていた「ASHIMIZU」と「風鈴彩祭」を振り返ります。

東京ミッドタウンのミッドタウン・ガーデンを流れる小川に足を浸して涼を取るイベント「ASHIMIZU」。水の流れる音や蝉の声、高い所で葉擦れの音、刻一刻と変わる空を横切って飛ぶ鳥の羽ばたきなど、涼を取りながら様々な自然の「音」も楽しめるイベントでした。

日本各地の伝統的な風鈴の音色を楽しめるのが、館内の装飾「風鈴彩祭」。焼き物や石、炭、樹脂など、素材の違いによって異なる風鈴の音色は、懐かしくて新しい、日本の風物詩です。

今年の夏のイベントでは素敵な「音」に出会えな。また新たな季節に「音」を探してみたいものですね。

場所 赤坂9-7-1 東京ミッドタウン内
電話 各イベント開催期間は要問合せ ☎ 03-3475-3100



代表の長谷川佳代さん(左から2人目)と合唱団の皆さん。長谷川さんはお話の際もコロコロと鈴が鳴るような可愛らしく清き良いお声



和気藹々とした練習風景。ひとたび合唱が始まると、男声の重厚感と女声の軽やかさが実に耳に心地好い



お箏の音色は優しくと力強さがあり、とても癒されます。高市先生の歌声も魅力の一つです



日本の民謡をイメージしたというシェード(屋根部分)は古典的かつ未来的



各所に展示されている風鈴。産地や材質の説明がバネら思わず見入ってしまう